

はしど

練馬区立橋戸小学校
学校だより 第8号
令和元年12月2日
校長 青木 俊哉
<http://www.hashido-e.nerima-ky.ed.jp/>

☆学校教育目標

考える子・思いやりのある子・たくましい子

心をひとつに

校長 青木 俊哉

「心をひとつに、笑顔で楽しい学芸会にしよう」のスローガンのもと実施した学芸会、無事二日間の舞台が幕を閉じました。多くの保護者、地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

心をひとつに…の言葉には、ONE TEAM (ワチム) を意識し、舞台を創り表現する活動を通して学年が一つにまとまったこと、集団として互いに高め合う関係作りが進められたことが込められています。舞台芸術は、“舞台上の一人一人が輝く存在であること (個の尊重)” と、“一人一人の動作、表情、台詞が重なり合い絡み合って、一つの演技を作り上げていくこと” で成り立ちます。また、“舞台を支える様々な役割” もあります。こんな関わりを、学芸会に向けての練習の中で、子供たちは自然に学んできているのです。実は、この関係や構造は、学級づくり、学年づくり、学校づくりにも共通するものと考えることができます。学芸会后、先週の教室をのぞくと、道徳科で一人一人のよさを見つけ合う授業や、学期末・学年末に向けてクラスとしての目標を見直したり、取組を話し合ったりする授業を見かけました。学芸会での学びや経験を、次の取組につなげたり、今後の学校生活に生かしたりする視点での学習が展開されています。

さて、一人一人を大切にすることは、人権意識を高めることにもつながります。昨年もこの紙面でお知らせしましたが、12月4日から10日は人権週間です。1948年12月10日、国連で「**世界人権宣言**」が採択されたことを記念し、「**世界人権デー**」と定められました。日本では、この1週間を**人権週間**として、人権尊重を訴えるイベント等が各地で開かれています。練馬区でも、毎年人権にちなんで「**講演と映画の集い**」を開催しています。(今年は12月12日の予定)

人権は、誰もが生まれながらにもっている“**人間らしく幸せに生きていくための権利**”です。しかし、いじめや児童虐待などにより子供が命を落とすといった痛ましい事件が後を絶たず、インターネット上で他人を誹謗中傷したり、個人の名誉やプライバシーを侵害したりする事件もなかなか減りません。高齢者や障がい者への虐待、外国人への差別的言動、各種ハラスメントや暴力、不当な差別など、様々な人権侵害が身近にも存在しています。学校では、道徳科の学習や学級活動、学校行事への取組を通して、“**思いやりの心や、かけがえのない命を大事にする学習**”を進めます。子供たち一人一人の意識を高め、考えて行動できるよう、取り組んでまいります。1月の土曜公開は、**道徳授業地区公開講座**として、全学級の道徳科の授業を公開し、講演や意見交換の場を設ける予定です。保護者や地域の皆様にも、こういった機会をきっかけに、改めて一緒に考えていただけると幸いです。

【オリンピック・パラリンピック観戦プログラム(本校の観戦配当)のお知らせ】

* 令和2年8月31日(月) 新4年生、9月1日(火) 新5・6年生

両日とも、新国立競技場にて、パラリンピックの陸上競技を観戦、応援します。

観戦する学年は、それぞれ授業日となります。時間等の詳細は、今後わかり次第お伝えしていきます。